

地球温暖化に関するアンケートについて

On Questionnaires of Global Warming

荒井 義則

ARAI Yoshinori

地球温暖化に関するアンケートについて

On Questionnaires of Global Warming

荒井 義則

ARAI Yoshinori

要旨：地球温暖化に関するアンケートを実施して、分析を行った。

キーワード：地球温暖化、気候変動枠組条約、京都議定書、パリ協定、IPCC

1. はじめに

地球の温暖化は急激に進行し、このままの状態が続いていけば、将来の被害は甚大なものとなる。そのため、世界的により厳しい温暖化対策が求められている。アンケートを実施した学生が社会の中心となっている10年後、20年後の社会の状態が現在の我々の行動にかかっている。そのような状況にある学生に対して地球温暖化のアンケートを実施することの意義は少なくないと思われる。

2. 質問項目

アンケートは、2021年11月24日(水)1限の「くらしの科学」(提出者15名)と11月26日(金)4限の「税法」(提出者26名)の授業内で、無記名で実施した。事前に研究発表に用いることがあることを伝え、提出は任意とした。

以下にアンケートの設問を示す。

問1 地球の温暖化について関心がありますか。

①非常にある。

- ②ある程度ある。
- ③あまりない。
- ④全くない。

問2 地球の温暖化の原因物質のひとつが二酸化炭素CO₂であることを知っていますか。

- ①知っている。
- ②知らない。

問3 森林が二酸化炭素を吸収していることを知っていますか。

- ①知っている。
- ②知らない。

問4 地球の温暖化のメカニズムである温室効果を理解していますか。

- ①よく理解している。
- ②ある程度理解している。
- ③温室効果という語句は知っているが、内容は理解していない。
- ④全くわからない（温室効果という語句も知らない）。

問5 地球の温暖化が異常気象をもたらすということを知っていますか。

- ①知っている。
- ②知らない。

問6 地球の温暖化と経済発展についてあなたの考えと一番近いものはどれですか。

- ①経済発展をある程度犠牲にしても、温暖化対策を進めるべきである。
- ②温暖化対策は必要であるが、経済発展を重視すべきである。
- ③温暖化と経済発展は両立できる。
- ④わからない。

問7 日常生活で省エネを実行していますか。

- ①大いに実行している。

②ある程度実行している。

③実行していない。

問8 問7で①、②を選択した人に質問します。どのような省エネを実行していますか。

問9 気候変動枠組条約を知っていますか。

①よく知っている。

②ある程度知っている。

③あまり知らない（聞いたことはある）。

④全く知らない（聞いたこともない）。

問10 京都議定書を知っていますか。

①よく知っている。

②ある程度知っている。

③あまり知らない（聞いたことはある）。

④全く知らない（聞いたこともない）。

問11 パリ協定を知っていますか。

①よく知っている。

②ある程度知っている。

③あまり知らない（聞いたことはある）。

④全く知らない（聞いたこともない）。

問12 COPを知っていますか。

①よく知っている。

②ある程度知っている。

③あまり知らない（聞いたことはある）。

④全く知らない（聞いたこともない）。

問13 IPCCを知っていますか。

- ①よく知っている。
- ②ある程度知っている。
- ③あまり知らない（聞いたことはある）。
- ④全く知らない（聞いたこともない）。

問14 小学校で地球の温暖化について学習しましたか。

- ①学習した。
- ②学習しなかった。

問15 中学校で地球の温暖化について学習しましたか。

- ①学習した。
- ②学習しなかった。

問16 高等学校で地球の温暖化について学習しましたか。

- ①学習した。
- ②学習しなかった。

問17 学校以外で地球の温暖化について学習したことがありますか。

- ①ある。
- ②ない。

問18 問17で①あるを選択した人に質問します。どこで学習しましたか。

問19 今後日本は地球の温暖化に対してどのように取り組めばよいと思いますか。あなたの意見を簡単に書いてください。

3. アンケート結果

以下にアンケートの結果を示す。

問1～問7、問9～問17の結果

表中の数値は回答の割合を表す百分率であるが、小数点以下第2位を四捨五入してあり、また、無回答もあるので、合計が100%になっていない場合がある。

表1 問1～7、問9～17の結果

問	選択肢			
	①	②	③	④
1	4.9	75.6	17.1	2.4
2	97.6	2.4	—	—
3	90.2	9.8	—	—
4	12.2	22.0	61.0	4.9
5	82.9	17.1	—	—
6	31.7	4.9	24.4	39.0
7	2.4	56.1	41.5	—
9	0	2.4	46.3	51.2
10	4.9	24.4	36.9	34.1
11	7.3	19.5	68.3	4.9
12	2.4	7.3	51.2	39.0
13	0	4.9	22.0	65.9
14	82.9	14.6	—	—
15	90.2	9.8	—	—
16	68.3	29.3	—	—
17	7.3	92.7	—	—

問8の結果

- ・エアコンの温度設定（5人）
- ・節電（つけっぱなしにしない、未使用時はコードを抜くなど 9人）
- ・エコバッグ使用（2人）
- ・短い距離は徒歩か自転車（1人）
- ・節水（出しっぱなしにしない。掃除や洗濯時になるべく水を使わない 6人）
- ・水筒持参（2人）
- ・省エネやエコなどの意識を高める活動をする（1人）
- ・木が切られているので植林などの対策をする（1人）
- ・アイドリングストップ（1人）

1人でいくつも答えている学生もいるので、人数は重複して数えた。

問18の結果

- ・テレビやネット
- ・セミナーや講習会
- ・カナダ、アメリカ、フランス、オーストラリアの留学時にその国の環境について学習した

問19の結果

- ・森林伐採が増加しているのでその対策を取る（植林、伐採の中止など 6人）
- ・自動車の排ガス規制・電気自動車の使用（6人）
- ・公共交通機関の活用・徒歩（3人）
- ・節電（未使用時にコンセントを抜く、エアコンの温度調節、冷蔵庫の詰めすぎ・冷やし過ぎなど 3人）
- ・省エネ製品の購入・使用（1人）
- ・環境対策のための税金の導入（1人）
- ・太陽光発電・再生可能エネルギーの使用（2人）
- ・日常生活で省エネに取り組み、できることからやっていく（2人）
- ・先進国の日本が二酸化炭素を大量に放出していることが理解不能（1人）
- ・他国の模範となるような温暖化対策を経済発展とともに実施（1人）
- ・日本国民一人一人が温暖化について考え、意識すべき（7人）
- ・無理におし進めず、時間をかけて解決（1人）
- ・個人として何をすればよいのかわかるようにする（1人）

1人でいくつも答えている学生もいるので、人数は重複して数えた。なお、ここに掲げた語句や文は原文を要約したものである。

4. アンケート結果の分析

問1を見ると、①非常にある、②ある程度あるを合わせると80.5%となり、関心の高い学生が非常に多いことが分かる。温暖化対策の第1歩は関心を持つことであるから、この結果は喜ばしいことである。問2～問5を見ると、かなりの知識を持っていることが分かる。特に温室効果について、①よく理解している、②ある程度理解しているを合わせると34.2%となり、予想外の高

率である。メカニズム自体は文科系の学生にとっては理解しにくいはずであるが、よく努力していることが分かる。問9～問13になると、認知度は減少するが、現行の国際的取り決めであるパリ協定について、④全くわからない（聞いたこともない）と回答した学生が4.9%という非常に低い割合であることは評価できる。

問6において、「①経済発展をある程度犠牲にしても温暖化対策を進めるべきである」の割合が31.7%と比較的高い割合であることも評価できる。

問7の結果を見ると、60%近くの学生が日常生活で省エネを実行しており、問8の結果を見ると実行内容も多岐にわたっていることが分かる。知識だけでなく実践を伴っているのは評価できる。知識は重要であるが、知識だけでは環境問題は解決しない。

問14～問17の結果を見ると、小学校・中学校・高校で環境を学んでいる学生が多くいることが分かる。温暖化の知識が比較的多いのもこの学習に負うところが大きいと思われる。さらに大学でより高度な内容を学べば、環境については十分である。ただ、学校以外で学んだ学生の割合が少ないのは気がかりな点である。

問19では、日本の取り組みについて各自の考えを尋ねたが、その結果いろいろな意見が出された。これらを大別すると、温暖化に対する意識を問題にしている考え方と具体的な方策についての考え方に分類できる。これらは両方とも必要なことであり、この2種類の意見が出てきたことは大いに評価できる。

5. 終わりに

このまま温暖化が進展すれば、このアンケートを提出してくれた学生のような若い人たちの未来を奪いかねない。今活動することが必要となっている。このアンケートでは、知識もあり、実生活でも省エネを実行し、温暖化に対する考え方もしっかりとしている学生の存在が判明したが、温暖化の対策はこれからの正念場である。温暖化を阻止できるよう学生たちにも頑張ってもらいたい。

参考文献

内閣府「地球温暖化対策に関する世論調査」

<https://survey.gov-online.go.jp/h28/h28-ondanka/index.html>

最終アクセス日 2021年11月26日

環境省「国内アンケート調査結果」

<https://www.env.go.jp/earth/report/h13-05/08.pdf>

最終アクセス日：2021年11月25日